東京工業高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	現代技術史入門（教養ゼミⅠ）

科目基礎情報

科目番号	0014	科目区分	一般 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	一般教育科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	ステップアップ高校スポーツ　大学生の健康･スポーツ		
担当教員	河村 豊		

到達目標

ウォーキングの実践体験を通じて、健康づくり、体づくり、仲間づくり、生きがいづくりの実践と習慣化を目標としている。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	積極的に授業に参加し、ウォーキングを楽しみリフレッシュする。	継続的に授業に参加し、ウォーキングに主体的に取り組む	欠席が多く、無気力な授業参加
評価項目2	自らの健康づくりや体づくりを、ウォーキングを通して実践する	自らの健康づくりや体力づくりへの知識と関心を持つ	自らの健康や体力に無関心
評価項目3	仲間づくりや生きがいづくりをウォーキングを通して実践する	仲間づくりや生きがいづくりの必要性を理解し、体験する	仲間づくりや生きがいづくりに無関心

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京（東京高専）への多様な「気づき」を促す。
授業の進め方・方法	授業は初回（ガイダンス）と最終回（報告会）を除き、全て土日の集中授業として実施。都心の5コース（各コース距離は15㎞程）から2コースを選択。 ◇事前レポート（締切は実施前日のPM12時まで：厳守）：コース沿いのスポットについて、興味や関心を持った理由や、歴史や文化的特徴等について事前調査する。 （ワープロ文章で40字×20行以内で作成し、実施前日までにメールで提出） ◇当日の路上プレゼン：担当スポットの歴史・特徴等について、3分間の現場でのプレゼンを担当。 ◇当日のコースガイド：配布地図をもとに参加者の先頭に立ってルートを確認しガイドする。 ◇事後レポート（締切は実施日の翌週日のPM12時まで：厳守）：歩いたコースや街の様子、魅力的なスポットの感想、自分自身の気づきなどを事後レポートとしてまとめる。 （ワープロ文章で40字×20行以内で作成し、実施後1週以内にメールで提出）
注意点	歩行距離は15㎞～20㎞あり、以外に都心は起伏も多く、完歩するにはそれなりの体力が要求される。万全の体調で参加すること。 ◇必要な持ち物 ・必要経費（交通費、昼食費用等は個人負担）・歩きやすい服装とシューズ・リュックサックタイプのバッグ ・雨具（天候悪化の場合）・飲み物（ペットボトル）・地図・メモ用紙・筆記具・カメラや万歩計はあると便利

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	授業の目標と概要、方法を理解する。参加者相互の自己紹介。ウォーキングコースの選択。
		2週	第1回目の選択コースのウォーキング①	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		3週	第1回目の選択コースのウォーキング②	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		4週	第1回目の選択コースのウォーキング③	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		5週	第1回目の選択コースのウォーキング④	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		6週	第1回目の選択コースのウォーキング⑤	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		7週	第１回目の選択コースのウォーキング⑥	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		8週	第2回目の選択コースのウォーキング①	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。

	4thQ	9週	第2回目の選択コースのウォーキング②	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		10週	第2回目の選択コースのウォーキング③	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		11週	第2回目の選択コースのウォーキング④	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		12週	第2回目の選択コースのウォーキング⑤	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		13週	第2回目の選択コースのウォーキング⑥	日本の首都・東京の政治・経済･商業の中心部を歩き、江戸から続く歴史、文化、文学、建築、都市景観、地理や生活環境等について、自らの身体感覚（五感）を通して、東京を実感し、ウォーキングの魅力に気づく。
		14週	報告会	授業のまとめを行う。
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前6,後1,後9,後10,後13
				相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	3	
				集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	3	前2,後2,後9,後12,後13
				目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	3	前7,後1,後3,後12,後13
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	身内の中で、周囲の状況を改善すべく、自身の能力を発揮できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				集団の中で、自身の能力を発揮して、組織の勢いを向上できる。	3	前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				日常生活の時間管理、健康管理、金銭管理などができる。常に良い状態を維持するための努力を怠らない。	3	前1,前2,前3,前4,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				ストレスやプレッシャーに対し、自分自身をよく知り、解決を試みる行動をとることができる。日常生活の管理ができるとともに、目標達成のために対処することができる。	3	前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				チームワークの必要性・ルール・マナーを理解し、自分の感情の抑制、コントロールをし、他者の意見を尊重し、適切なコミュニケーションを持つとともに、当事者意識を持ち協調して共同作業・研究をすすめることができる。	3	前1,前2,前5,前7,前8,前9,前10,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				組織やチームの目標や役割を理解し、他者の意見を尊重しながら、適切なコミュニケーションを持つとともに、成果をあげるために役割を超えた行動をとるなど、柔軟性を持った行動をとることができる。	3	前1,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16
				先にたって行動の模範を示すことができる。口頭などで説明し、他者に対し適切な協調行動を促し、共同作業・研究をすすめことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				目指すべき方向性を示し、先に立って行動の模範を示すことで他者に適切な協調行動を促し、共同作業・研究において、系統的に成果を生み出すことができる。リーダーシップを発揮するために、常に情報収集や相談を怠らず自身の判断力をも磨くことができる。	3	前4,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	0	20	60	100
基礎的能力	0	20	0	0	20	60	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0